

9月23日は 「手話言語の国際デー」

世界ろう連盟(World Federation of the Deaf:WFD)は9月23日に手話言語に関するイベントを2018年から開催してきました。このイベントに加えて2022年から、国連や世界ろう連盟のロゴの色で、「世界平和」を表す青色(#007EC4)を世界各地でライトアップを呼びかけました。

このイベントやブルーライトアップは世界、市民、地域社会がSNSでつながり、各国の手話言語を尊重しあい、世界中のきこえない・きこえにくい人ときこえる人がひとつになる瞬間です。

あなたもハッシュタグ(「#IDSL」「#BlueLight」「#手話言語に光を」と、タグ付け(「@jfd.or.jp」「@Wfdeaf」)して、SNS等にアップしよう！

亀岡市
保津大橋



向日市
上植野浄水場

INTERNATIONAL DAY OF SIGN LANGUAGES

2006年に国連で採択された障害者権利条約にて「言語に手話が含まれる」ことが明記されたのをきっかけに、全日本ろうあ連盟は2010年より「手話言語法」制定を求める取り組みを続けています。

毎年9月23日に行われる手話言語の国際デーは、2017年12月19日に国連総会で決議され、今年で6年目になります。決議文では、「手話言語が音声言語と対等であることを認め、ろう者の人権が完全に保障されるよう国連加盟国すべてにおいて手話言語についての意識を高める手段を講じることを促進する」とされています。



詳しくはコチラをご覧ください👉

https://www.jfd.or.jp/intdoc/idsl_iwdp

発行：一般社団法人京都府聴覚障害者協会
京都府京都市中京区西ノ京東中合町2番地
京都市聴覚言語障害センター内
FAX 075-841-8433

E-mail info@deaf-Kyoto.or.jp

デフリンピックって何？

東京2025デフリンピックを応援しよう！

デフリンピックとは、デフ+オリンピックのこと。
デフ(Deaf)とは、英語で「耳がきこえない」という意味です。
デフリンピックは国際的な「ろう者のためのオリンピック」なのです。国際ろう者スポーツ委員会(ICSD)が主催し、4年毎に開催されるデフアスリートを対象とした国際総合スポーツ競技大会です。

第1回は、1924年にフランスのパリで開催されました。
東京2025デフリンピックは、100周年の記念すべき大会であり、
日本では初めての開催になります。

国際手話のほか、スタートランプや旗などを使った**視覚による情報保障**が特徴です。

デフリンピックには、①「補聴器」などを外した状態で、きこえる一番小さな音が55dB(デシベル)※を超えており、②各国の「ろう者スポーツ協会」に登録されている選手で、記録・出場条件を満たしている人が参加できます。

dBは音の大きさを表し、数字が大きいほど音が大きい
55dBは話し声がきこえない程度

正式名称 第25回夏季デフリンピック競技大会東京2025
(略称) 東京2025デフリンピック
期間 2025年11月15日～26日(12日間)
参加国 70～80か国・地域
参加者数 各国選手団等:約6,000人
(選手約3千人、ICSD役員・SD・審判・スタッフ約3千人)



詳しくはコチラをご覧ください👉
<https://www.deaflympics2025.com/>

発行：一般社団法人京都府聴覚障害者協会
京都府京都市中京区西ノ京東中合町2番地
京都市聴覚言語障害センター内
FAX 075-841-8433
E-mail info@deaf-Kyoto.or.jp